

# 大竹小学校だより

「みんなで伸びる」～トライ&サポート～

令和6年度 4月号①

令和6年4月8日発行  
大竹市立大竹小学校

## 入学・進級おめでとうございます

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。本校においては、本日、新年度をスタートし、新しい学年、クラスで新しい出会いをしました。本年度も学校教育目標を「みんなで伸びる」、サブテーマを「トライ&サポート」として、みんなとかかわりあって、目標を決めて挑戦し、挑戦している人を応援できる児童を育ててまいります。

本年度も保護者、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 始業式で子どもたちに話したこと

校長 真鍋 和聡

**元気ですか？** 元気があれば始業式もできる。どんどん、元気を発信していきます。

大竹小学校は、**3つの「あ」**—「あいてを見て」「あかるい声で」「あたまを下げる」という「あいさつの仕方」をすることにしていますね。

校長先生からは、これに付け加えて、「『あいさつ』とは何か？」ということをお話します。

**あ：あかるく**……これは共通です。

**い：いつでも**……いつでも、どこでも、何度でも

**さ：さきに**……校長先生はあいさつの試合をします。先にあいさつをした方の勝ちです。

**つ：つづける**……毎日します。

明るく、いつでも、先に、続けるのがあいさつです。

さあ、令和6年度の始まりです。進級、おめでとうございます。みんな学年が1つ上がりました。おそらく、気持ちを新たに、これからの1年間、頑張るぞ、という気持ちになっていると思います。特に、6年生は最高学年です。学校の機関車として、グイグイ学校を引っ張ってください。

大竹小学校の「学校教育目標」は、「**みんなで伸びる ～トライ&サポート～**」です。

「みんなで」：みんなといっしょに、みんなとかかわりあって

「トライ」：目標を決めてやってみる（挑戦）

「サポート」：挑戦している人を応援できる

いろんなことを書いていますが、まず「**挑戦**」しないとダメです。では、何にどのように挑戦するのでしょうか。

こんな本があります。『**知ってほしいこの名言～大切にしたい言葉～ 背中を押してくれる名言**』という本です。有名な人が言った心に響く言葉が、たくさん紹介されています。有名なメジャーリーガー、あの大谷翔平選手の「憧れるのをやめましょう」という言葉も紹介されています。

この本の中で、校長先生が、一番心に響いたのは、「**プロレスラー・政治家のアントニオ猪木**」という人の言葉です。

### 「その一足が道となり その一足が道となる 迷わず行けよ 行けばわかるさ」

この本には、この名言の意味が、次のように説明されています。

「人は、新しいことを始めるときには迷ったり不安を感じたりします。しかし、一歩ふみ出さなければ、成功もありません。新しい道も一歩ふみ出さないとわかりません。」ということです。

ただ単に、「とにかくやってみなければわからない」という意味ではないということです。

### 「迷わず行けよ 行けばわかるさ」

校長先生は、簡単に言えば、「**迷ったら、大変そうな方を選び**」ということだと思っています。実は、「むずかしいこと、めんどうくさいこと、つらいこと」というものは、実は、自分が成長するチャンスになります。

勉強でも、運動でも、掃除当番、給食当番、給食で苦手な食べ物も、友達とけんかして仲直りしないといけないときも、逃げません。挑戦してみます。勇気をもって挑戦してください。

粘り強くトライ、挑戦して、九九も言えるようになった、速く走れるようになった、苦手だった野菜も食べられるようになった、掃除も上手になった、逆上がりもできるようになった…。これが成長です。

トライ&サポートということで、一人一人の挑戦に、お互いに教え合ったり、困っていたら助け合ったり、困ったら助けを求めたり、お互いに競い合ったりして、みんなで伸びましょう。まずは、「**挑戦**」です。

「迷わず行けよ 行けばわかるさ」

